

2024年度 国語国文学専修 卒業論文成績優秀者によるポスターセッション  
2024年3月24日

# 金沢方言の終助詞「じ」について

国語国文学専修 国語学コース 荒木瑞帆

## 【目次】

- 1 金沢方言の概要と問題のありか
- 2 金沢方言の「じ」と共通語の終助詞の対照
- 3 高校生へのアンケート調査
- 4 「じ」のニュアンス
- 5 まとめ

# 1. 金沢方言の概要と問題のありか

- ・ 石川県の方言は、北部の能登方言と南部の加賀方言に大別され、金沢方言は加賀方言の中でも北加賀方言に属する(図1参照)。
- ・ 終助詞「じ」は、金沢方言の特徴的な表現として使用頻度が高い。  
(例:「やるじ」「いいじ」)
- ・ 金沢の人はなぜ文末に「ジー」をつけるのか、詳細は明らかになっていない。



図1 石川県の方言区画図  
(川本 1992)

## 2. 金沢方言の「じ」と共通語の終助詞の対照

「じ」をパターンⅠ～Ⅶに分類したところ、パターンⅠ・Ⅲの場合に使用できると考察した。

表Ⅰ 「じ」の用法

文タイプ	話し手の 行為へ の後接	対話/ 独話	応答要求	応答の種類/用法	パターン	じ
平叙文	×	対話	なし	独話的につぶやくこと で間接的に伝わるよう な表現/気づき/詠嘆	Ⅰ	○
				警告や否定/情報伝達 /確認作業/間投的な 用法	Ⅱ	×
			あり	理由説明等/感想	Ⅲ	○
				同意/肯否	Ⅳ	×
		独話	—	Ⅴ	×	
		○	—	Ⅵ	×	
平叙文以外			—	Ⅶ	×	

《調査》共通語の終助詞（日本語記述文法研究会(編)2003)との比較による「じ」の用法の適格性。発表者の内省と中年層1名、若年層1名への聞き取りによる。

- I [体温計を見ている母親の発言]まだ熱がある{わ/じ}。もう少し寝ていなさい。
- II あまり子供に甘くしていると、しつけによくない{ぞ/×じ}。
- III A「君が遅刻するとは、珍しい{ねえ/じ}。」  
B「家を出るのが遅くなったうえに、渋滞につかまったんだよ。」
- IV A「今日は暑い{ねえ/×じ}。」 B「そうだねえ」
- V 昨日はよく降った{なあ/×じ}。
- VI A「ねえ、この本、知ってる？」  
B「高校生のころに読んだ{なあ/×じ}。」
- VII すぐ戻ってくるから、ここで待っていなさい{ね/×じ}。

### 3. 高校生へのアンケート調査

表2 高校生へのアンケート調査項目と例文

質問文	観点	パターン
①「もう勉強終わったの？ <u>すごい</u> じ(ね)。」	対話: 応答要求なし	I
②A「誕生日に新しいスマホ買ってもらったんだ。」 B「 <u>いい</u> じ(な)。」	対話: 応答要求なし	I
③友人が作ってくれた料理を食べて感想を言うときの「 <u>おいしい</u> じ(よ)。」	対話: 応答要求あり 理由説明等/感想	III
④友人と一緒にお店で料理を食べて感想を言い合うときの「 <u>おいしい</u> じ(ね)。」「そうだね。」	対話: 応答要求あり 同意/肯否	IV
⑤一人で料理を食べて独り言を言うときの「 <u>おいしい</u> じ(な)。」	独話	V

《調査》石川県出身の高校生61名へのアンケート調査を実施（調査時期：2024年7月）。そのうち金沢市出身の35名の回答を分析。

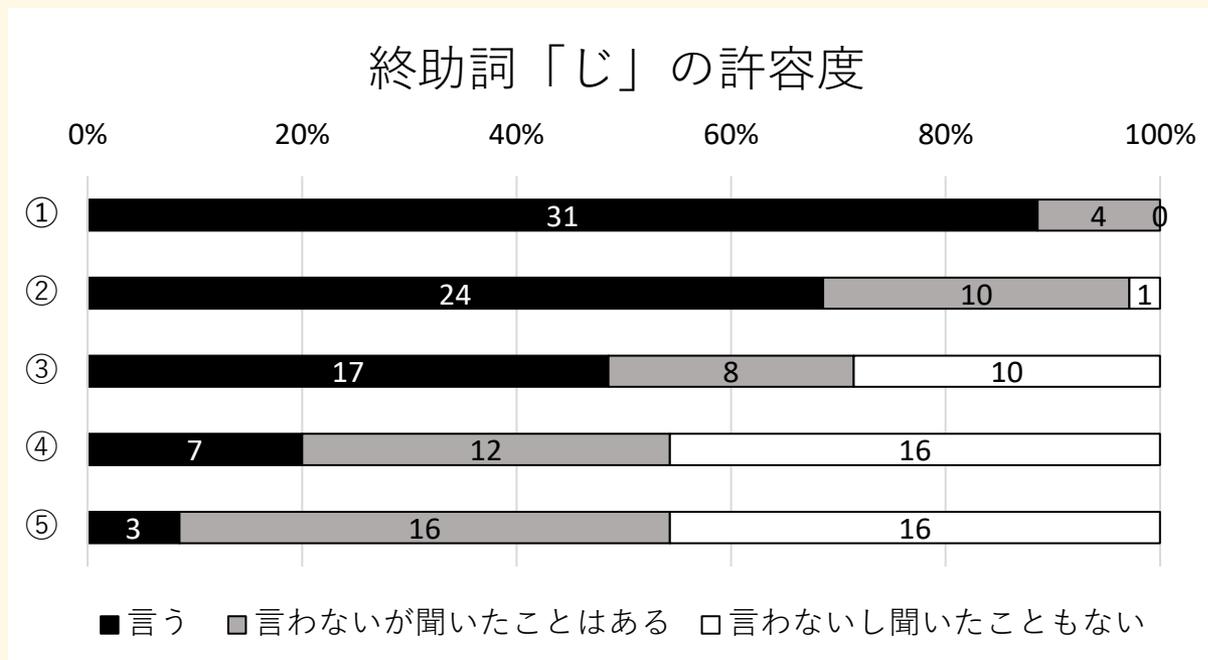


図2 金沢市出身者の終助詞「じ」の許容度

・ 質問①②から、「じ」は若い世代でも多く使用されているが、使用しない人も増えてきていることが考えられる。

・ 質問③で「言う」と回答した人が少ないのは、「想像よりおいしかった」や「自分より料理が苦手な人に言っているように感じる」など、おいしいことを素直に褒める以外のニュアンスを感じた人もいたためだと考える。

## 4. 「じ」のニュアンス

《調査》先行研究(加藤和夫2005・2022)及び中年層3名、若年層2名への聞き取りによる「じ」のニュアンス。

### 【先行研究・中年層】

- ・冷やかす場合
- ・うらやましさを表す
- ・単に強調したい場合  
など人によって異なる



### 【若年層】

- ・単に感想
- ・素直に相手を羨んだり褒めたり
- ・たまに冷かす場合にも使用

変化している!

- ・ 親しみのある相手やくだけた場面で使用。きつい言い方や嫌な時、真剣な場面では使用しない。  
→冷やかしや皮肉などのニュアンスを込める場合でも本当に相手を非難しているのではなく、相手への親しみがあるからこそ使用される方言だと言える。

## 5. まとめ

- ①「じ」の用法は、共通語のどの終助詞とも異なることが分かった。
- ②若年層で「じ」を使用しない人が増えている傾向が見られた。
- ③「じ」のニュアンスや使用場面は、中年層以上と若年層で変化していることが分かった。

### 参考文献

- 加藤和夫(2005)『新頑張りまっし金沢ことば』北國新聞社  
加藤和夫(2022)「北陸地方における方言景観の特徴」『国際文化』4、公立小松大学国際文化交流学部  
川本栄一郎(1992)「石川県方言」平山輝男ほか編『現代日本語方言大辞典1』明治書院  
日本語記述文法研究会(編)(2003)『現代日本語文法4 第8部モダリティ』くろしお出版